



9月

# ぶら研 「すんくじら」

令和6年度 志和池小 校長室から ぶらっと研修 13 9月24日 文責 田爪

## 【ポジティブ行動支援について再確認】

ネガティブなスパイラルに陥ることなく、ポジティブなスパイラルを生み出そう

「できていない行動」に着目して、注意・叱責ばかりの学級経営では

教師が子どもに対してネガティブな言葉や、排除するような態度をとってしまうことにより、学級集団が排他的で攻撃的になり、様々なトラブルにつながる可能性を高めてしまう。

### 「注意・指導」は次の「承認・称賛」につなげよう

日常の中では、子どもの問題行動に対して注意や叱責はつきものです。しかし、ポジティブ行動支援の立場から考えると、それらの指導も次のように考えることができます。

- ・問題行動を未然に防ぐために、私に何かできたのではないだろうか。
- ・今回のような問題行動が起きたとき、私はこれまでどのように関わってきただろうか。

行動の原因を子ども本人ではなく、教師も含めたその子どものまわりの環境に求めるという視点をもつことが重要です。

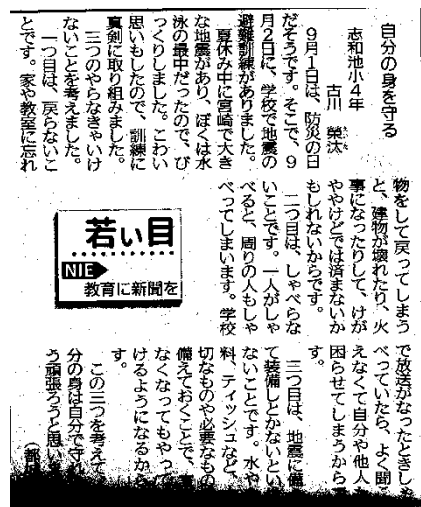
単にその行動を止めさせるためだけの指導をするのではなく、

- ・今回のような問題行動には、どのような問題があったのか。
- ・今回のようなとき、どのようなポジティブな行動が期待されているのか。

ということ子どもに伝えることで、その指導を次の機会のポジティブな行動が生まれるきっかけとすることができます。そうして生まれたポジティブな行動には積極的に「承認・称賛」することができます。



3年生が学習したばかりのローマ字を使って、スライドやFigjamで学習したことをまとめています。これは、パシオの見学について。ローマ字入力に少しずつ慣れてきています。



9月14日宮日「若い目」

志和池イーグルス 優勝！ 都城西ロータリークラブ旗野球大会（5年生以下）にて